



# 幸せに生きる能力は子供の間で育ちます

社会の中で幸せに生きる能力 EI は社会との共感力がベースになっています。それは子供脳だけで発達します

## Q 社会との共感力は何歳までに育ちますか？

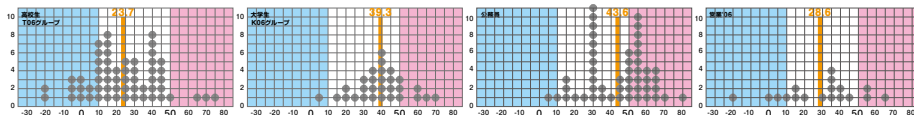
**a** 5歳までに  
育ち大人とほ  
ぼ同等になる

**b** 10歳までに育つ

**c** 20歳まで  
育ち成人してさ  
らに発達する

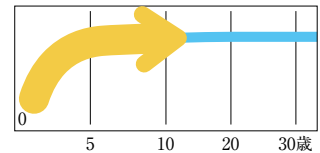
## A 正解は a と推察され、c は全くの錯覚です

共感力とは EI (感情力) の中でも重要な働きをする能力です。20組の母子を対象にした当所の実験では、共感力は5歳を過ぎると一気にお母さんと同等になりました。また、高校生4クラス120人ほどの調査では成人との差はありませんでした。



共感力の成長は高校生までに止まっていることがわかる。

大脳辺縁系は子供期だけに育つ



### 大人は子供脳の発達を優しく見守ろう

現在の研究では、子供脳発育の詳細は不明です。また、特別に共感力の高い2名について調べたところ、父母兄弟とも関連がありませんでした。共感力と遺伝の関係は更なる調査が必要でしょう。

EIを発達させるためにできることは、子供脳の発達を妨害しないことです。大人の基準で冒険心や空想力と表裏にある危険を防ぎすぎたり、個性を強調しすぎたりしないで、EIの健康な発育を見守ることが大切です。

### EI (感情力) は2段階で発達する

「3つ子の魂100まで」と言われます。大脳辺縁系が司る感情力はおそらく3歳頃にはかなり育ち、上記の実験のように5歳でほぼ完成します。

一方の大脳新皮質が大人並みの大きさになるのは10歳です。その時になると大人脳の知力と子供脳の感情力が協力して、さらに社会性を高め、高校生になる前にはほとんど完成しています。

### 視覚デザイン研究所の絵本 には冒険、不思議がいっぱい

子供たちは、絵を見ながら冒険心を肯定的に受け止め、育てて行きます。

